

ロクマル

市議会だよりさいたま | No.83 2020.8.1

ロクマル=60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。



あなたはどのタイプ？ 自宅から議会の動きをチェック

コロナ禍においても、議会では様々な取り組みを行っています。
議会活動を知るためのツールをタイプ別にご紹介します。

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に配慮した表現としております。



自宅で本会議を見る インターネット議会中継



市議会では、本会議の様子をインターネットで生中継しています。また、過去の録画映像も配信していますので、好きな時間にパソコンやスマートフォンでご覧になれます。



A

リアルタイムで見たい！

そんなあなたには…

録画映像は、生中継終了のおおむね4日後に配信。

その日の配付資料を丸ごと掲載 議会資料検索

議会資料検索では、議案書をはじめ、実際に本会議や委員会で配付される資料の検索・閲覧ができます。開催日ごとにフォルダを設けるなど、情報を探しやすくしています。



「詳細検索」からキーワードで検索することも可能。

B

もっとくわしく知りたい！

そんなあなたには…

市議会の動きをコンパクトで紹介 テレビ広報番組 & 市議会だよりさいたま 「ようこそさいたま市議会へ」 「ロクマル」



定例会ごとに年4回、テレビ埼玉で放送している番組では、定例会のダイジェストや委員会の正副委員長インタビューなどをお送りしています。また、市議会ホームページで過去の放送分も動画配信しています。



ホームページにバックナンバーも掲載。



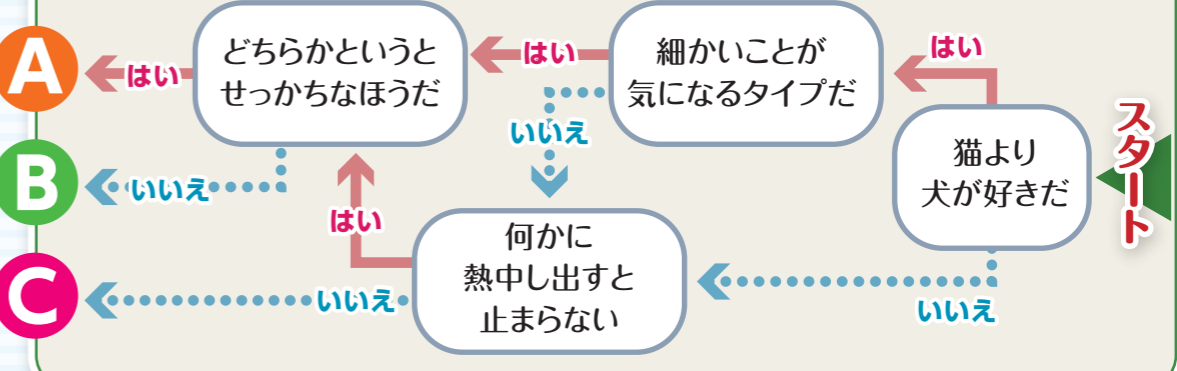
C

効率よくポイントを押さえたい！

そんなあなたには…

あなたほどのタイプ？ 自宅から議会の動きをチェック

あなたのぴったりが見つかる!? 市議会広報診断



さいたま市議会 ホームページ

<https://www.city.saitama.jp/gikai/>

市議会ホームページでは、市議会議員の紹介や、議案の審議結果、議会改革の取り組みなど、様々な情報を掲載しています。また、市議会の傍聴や市議会への請願・陳情の方法などもご紹介していますので、まずは一度チェックしてみてください。

さいたま市議会



テレビ広報番組

インターネット議会中継

議会資料検索

市議会だよりさいたま「ロクマル」

議案第102号 専決処分の報告及び承認を求めることについて
(令和2年度さいたま市一般会計補正予算(第3号)) ほか 4議案

新型コロナに対応するための補正予算議案が可決

感染拡大防止や医療提供体制の整備、雇用の維持と事業の継続などの支援のため、市長から専決処分の報告を含む令和2年度補正予算議案が提出され、承認・可決されました。

<主な事業>

- 民間検査機関によるPCR検査費用および入院の勧告・措置に伴う医療費の負担、移送体制の強化(1億3,455万円)
- PCR検査機器や試薬などの購入(4,981万円)
- 市内中小企業者への臨時資金融資(297億2,642万円)
- 1人10万円の特別定額給付金の支給(1,333億6,907万円)



議員提出議案第7号 さいたま市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について

議員報酬を削減し新型コロナ対策の財源に

新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源とするため、令和3年3月までの間、議員報酬を議長20%、副議長15%、議員10%減額することにより、総額約5,000万円を削減する議案が議員から提出され、可決されました。

議員提出議案第10号 新型コロナウイルス感染症対策の更なる拡充を求める決議

新型コロナ対策の更なる拡充を求める決議案を可決

市議会では、3月に「新型コロナウイルス感染症に対する万全の対応を求める決議」を可決、5月には各常任委員会からの要望書を提出するなど、市に対策を求めてきました。今般の状況を踏まえ、保健所などでの相談体制の強化や、医師会や民間医療機関などとの緊密な連携による医療提供体制の整備など、市執行部に対し感染症対策の更なる拡充を強く求める決議案が議員から提出され、可決されました。

委員会提出議案第3号 さいたま市次期総合振興計画の在り方に関する決議

市の次期総合振興計画に議会の意思を

市政運営の基本的かつ総合的な指針である次期総合振興計画について、市の基本的計画の在り方検討特別委員会から、これまでに出された委員の意見をとりまとめ、市長に対し次期計画への反映について検討を求める決議案が提出され、可決されました。

4月臨時会で審議された議案 ▶ 市長提出議案9件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件/合計13件



令和2年6月定例会
(6月3日～6月26日/会期24日間)

議案第111号 専決処分の報告及び承認を求めることについて
(令和2年度さいたま市一般会計補正予算(第7号)) ほか 6議案

70億円超の補正予算議案が可決

新型コロナウイルス感染症へのさらなる対応のほか、防災対策の強化、教育環境の充実などを目的とした、総額70億円を超える令和2年度補正予算議案(専決処分の報告を含む。)が提出され、承認・可決されました。

<主な事業>

- 帰国者・接触者相談センターの相談体制やPCR検査体制の拡充
(6億9,619万円)
- 市内小規模事業者などへの一律10万円の支給
(21億1,054万円)
- 認可外保育施設の登園自粛者などへの保育料の一部助成
(5,097万円)
- 児童生徒への「1人1台端末」の整備(7,575万円)
※債務負担行為の設定限度額38億5,823万円(令和3～7年度)



議員提出議案第11号 さいたま市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナ患者などに対応した市職員の手当を増額

職員の特殊勤務手当のうち、防疫等業務手当についての特例を設け、新型コロナウイルス感染症の患者の救護や病原体に汚染された物件の処理などの業務に従事した職員に対し、1日につき上限3,000円(感染の恐れが特に高い場合は上限4,000円)を支給する議案が議員から提出され、可決されました。

議員提出議案第13号 市議会における事業の見直しにより生み出された財源を新型コロナウイルス感染症対策の拡充に活用することを求める決議 ほか1議案

議会費の見直しによる財源を新型コロナ対策へ

議員の海外派遣や委員会視察などの一部取りやめなどにより捻出した約1,100万円の財源を、新型コロナウイルス感染症対策の拡充に活用することを市執行部に求める決議案が議員から提出されました。一方、委員会からは、今年度のさいたまクリテリウムの開催見送りに伴い、市が交付する補助金の縮減を図り、その財源も新型コロナ対策に活用するよう求める決議案が提出され、いずれも可決されました。

議員提出議案第12号 刑法等の性犯罪に関する規定の改正に向けた取組を求める意見書

市議会から国へ意見書を提出

議員から「刑法等の性犯罪に関する規定の改正に向けた取組を求める意見書」案が提出され、可決されました。可決された意見書は、国会や関係行政庁に提出されます。

6月定例会で審議された議案

▶ 市長提出議案37件、議員提出議案4件(撤回された議案1件を含む)、委員会提出議案2件/合計43件

このほかの議案などの審議結果は、さいたま市議会のホームページをご覧ください。

さいたま市議会

検索

議員のQ&A 市のA

6月定例会「一般質問」ダイジェスト

市の政策・行財政

クリテリウムは中止し
新型コロナウイルス対策予算の確保を

Q

このコロナ禍の中、多額の税金を要するクリテリウムは中止とすべき。また、全体予算にシーリングをかけて財源を確保し、経済対策・生活支援など新型コロナウイルス対策に利用すべきでは。

A

今年度のさいたまクリテリウムは秋開催に向け調整が進められてきたが、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、現在、さいたまスポーツコミッションが、大会の見送りを含めて協議を行っている。本市の意向としては、市民の安全・安心の確保が最も重要な事項であると伝えている。また、新型コロナウイルスについては、これまでも中小企業資金融資など、市独自の支援を行うに当たり財政調整基金を取り崩しており、今後、一層の財源確保が必要と認識している。新型コロナウイルスの影響による事業の中止などに

行政手続きのオンライン化
積極的に進めるべき

Q

全国で行政手続きのデジタル対応の遅れが指摘されている。本市として、転入や結婚、出産などのライフイベントごとにワンストップでオンライン申請できるウェブ窓口を創設しては。また、氏名などを入力した届出書類を印刷して窓口に出す方法はどうか。

A

本市の「窓口パッケージジ工房」のオーダーシートを活用し、オンラインワンストップサービスを導入することについては、システムの導入経費や本人確認の方法など、様々な課題があると認識しているが、国において行政手続きのオンライン化が進められていることから、国の動向を注視するとともに、先進市の取組みについても研究していきたい。一方、個人情報を入力し届出書類が印

伴い、不用となった経費を減額補正するとともに、さらなる事業の見直しを行い、必要な財源を確保していく。



様々な行政手続きの窓口となる区役所
オンライン化は感染予防にも有効

刷されるシステムについては、すでに商品化されていることから、導入自治体の状況を研究し、導入の可否も含め検討していきたい。

福祉・保健・医療

自粛に伴う保育料の還付
認可外保育施設も対象に

Q

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、保育施設への登園を自粛した場合の保育料還付について、市認

一般質問

8人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。
質問の一部をご紹介します。

質問者

三神尊志／帆足和之／服部 剛
照喜納弘志／井原 隆／松村敏夫
吉田一郎／川村 準

定保育施設以外の認可外保育施設は対象となっていない。対象を拡大すべきではないか。

A

認可外保育施設の中で、本市独自の設置基準を満たすナーサリールームなどの市認定保育施設については、認可保育所と同様、登園を自粛した場合は保育料の負担軽減を行っている。一方、それ以外の認可外保育施設については、保育内容も様々で、保育の必要性に限らず希望すれば利用できる施設であることから、現状では負担軽減の対象としていない。しかし、その保護者の中には、保育を必要としながらも仕事を休み、登園を控えた方々もいると認識している。こうした状況も踏まえ、登園自粛により感染防止に取り組んだ保護者の負担軽減となる支援も必要と考えており、具体的対応について速やかに検討を進めていく。

第2波に備えるためにも医療体制を拡充すべき

Q

今後の新型コロナウイルス感染症対策のため、

医療体制の拡充と発熱外来の設置を求める。また、新型コロナウイルス対策に大きな役割を果たした公立・公的病院の統廃合計画を撤回し、充実するよう国に求めるべきと考えるが、市の見解は。

A

医療体制の充実については、県の病床確保に協力しながら長期的な視野で取り組んでいきたい。また、現在、帰国者・接触者相談センターで発熱の相談をいただいた際は、各医師会を通じて医療機関を紹介する取組みを進めており、速やかに受診できる体制確保に努めていく。公立・公的病院の統廃合計画については、昨年12月定例会で議決された「再編統合の議論が必要と位置付けられた公立・公的医療機関等からのさいたま北部医療センターの除外等を求める決議」に基づき、国にその重要性を申し入れた。新型コロナウイルス対策においても大きな役割を果たしており、欠くことのできない重要な医療機関と考えている。今後は、国の動向を注視しながら、市地域医療構想調整会議において、議論を深めていただくことが重要と考えている。

教育・文化

授業の遅れへの対応と新型コロナウイルスへの安全対策は

Q

3カ月もの長期にわたる学校で学習ができなかった影響は大きいと考えるが、再開後、学びの保障についてはどう対応していくのか。また、感染拡大の第2波・第3波に備えた子どもの安全対策は。

A

3月の未指導分については、現在実施している分散登校中に補填し終える予定

6月15日から市立学校の通常授業が再開
各学校で感染症の拡大防止に取り組んでいる



経済・産業

非営利団体も緊急経済支援の対象とすべき

Q

本市の緊急経済支援の状況や追加の経済対策は。特に、NPOなどの非営利団体は支援の対象外となっているが、地域経済や雇用、市民サー

定である。4月・5月分は授業日数33日分が不足しており、まずは夏季休業を2日間短縮し補填する。残りの分は、土曜授業の実施や冬季休業の短縮などについて協議し、決定していく。安全対策については、教育委員会がマニュアルを策定しており、児童生徒自らが感染拡大防止に向けた正しい理解のもと、適切な行動がとれるよう示している。万一、児童生徒の感染が判明した場合、教育委員会内に学校支援チームを設置し、二次感染の防止を図るための学級閉鎖、または学校の臨時休業などについて、総合的かつ速やかに判断していく。



幅広い分野で活動する非営利団体
その専門性を生かし社会を支えている

ビスを担う重要な存在であることから、対象とすべきと考えるが、市の見解を伺う。

A

新型コロナウイルスが市内事業者に甚大な打撃を与えている状況を受け、市は、無利子・無担保・無保証料の臨時資金融資をいち早く実行したほか、事業規模が小さく融資を受けづらい事業者や個人事業主に向け、一律10万円の給付金や補助金の支給なども実施した。なお、非営利団体については、多様な分野にわたる活動や、事業を通じて様々な貢献をしていただいていると認識しており、

引き続き、国や県の支援策の周知に努めていく。そして、さらなる支援策として、市内NPO法人からの声をしっかりと聴きながら、どのような支援を行えるかを検討し、適切にサポートできるようにしていきたい。

**中小事業者への家賃補助
市独自でも創設しては**

Q

中小・小規模事業者の経営継続には家賃問題がネックとなる。国の補正予算に最大600万円補助する家賃支援給付金の創設が盛り込まれているが、市はこれに乗せする形で補助制度を設計すべきと考えるが、見解を伺う。

A

本市では、すでに無利子・無担保・無保証料の資金融資や小規模企業者・個人事業主給付金などを実施している。本市独自で家賃補助制度を創設することについては、現在、国会で審議中の第2次補正予算案に盛り込まれている家賃支援給付金制度の事業スキームや、今後の経済状況を注視しながら、どのような形でできるか

検討していきたい。本市としては、融資をはじめ、事業者の規模や実態に応じた様々な支援策を実施しているところであり、今後も経済情勢を注視しながら、必要となる経済対策を実施していく。

**市民の負担を減らすため
給食費・水道料金の値下げを**

Q

経済が落ち込む中、暮らしへの支援が求められる。小・中学校給食費の値上げの撤回と値下げを求める。また、水道事業会計で毎年大幅赤字を出している水道料金は、生活と地域経済支援の観点から一時的にでも値下げすべきでは。

A

今回の学校給食費の改定は、食材の物価上昇などを踏まえ、給食の質を維持するために実施したものであり、値下げは考えていない。経済的な理由で教育にかかる費用負担が困難な保護者には、就学援助制度により給食費を市が全額負担している。水道料金については、水道水を届けるための経費や施設の更新などに充てる貴重

な財源であり、水道事業を維持していくためにも減免を直ちに実施することは難しいと考える。一時的に水道料金の支払いが困難な市民に対しては、最長6カ月の支払い猶予を行っているが、今後さらに最長1年間の範囲で期間を延長し、支払い猶予の拡充を図っていく。



まちづくり・環境

**「運命の10年」に向けた
今後のまちづくりの方針は**

Q

市のまちづくりの方針において、2020年代を「運命の10年」と重要な位置付けをしているが、新型コロナウイルス対策に想定外の費用を要している。一方で、まちの成長に関わる投資は計画どおり行うべきと考えるが、見解は。

A

新型コロナウイルスの感染拡大は喫緊の課題であり、引き続き市民の命と暮らしを守るために必要な取組みを躊躇なく実施していく。一方で、中長期的な観点からは、将来に向け

A 本市は、成長加速化戦略に基づき「次世代型スポーツ施設」の誘致・整備に取り組んでおり、また、さいたまスポーツコミッションが求める

持続可能な都市づくりを進めることも極めて重要である。本市が人口減少局面を迎えるまでの期間を「運命の10年」と位置付け、大規模な公共事業も含め、必要な投資は積極的に行っていくことが重要と考えている。これらを両立させるためにも、引き続き、事業の費用対効果の検証や事業の優先順位付けを行ったうえで、財源確保など、将来の世代に過度の負担を先送りしない、持続可能な財政運営を図ってきたい。

Q 与野中央公園にスポーツ施設新設の予定がある。市には興行用ミニアリーナ構想もあり、これらの複合化でスポーツのまちの中核施設となると考えるが、市の見解は。

与野中央公園スポーツ施設新設に向けた方針は

「アリーナ」もそれに近いものと認識している。現在、老朽化した与野体育館の移転先候補地として与野中央公園を検討しているが、次世代型スポーツ施設は地域経済の振興や地域コミュニティの醸成なども期待でき、賑わい創出の面からも大変有効である。地域の皆様や関係機関などとも連携・協議しながら、ミニアリーナを含め、次世代型スポーツ施設の誘致・整備の可能性についても鋭意検討を進めていきたい。今年度中の事業者決定を目指し、しっかりと取り組んでいきたい。



移転先候補地として検討中の与野中央公園
まちの中核施設として地域の期待は大きい

さいたま市議会からの

お知らせ



○ 災害見舞金をいただきました

令和元年東日本台風の甚大な被害に伴い、各市議会議長会および市議会の皆様から見舞金をいただきました。

改めまして、御礼申し上げます。

見舞金は本市の防災対策事業に充て、有効に活用するよう正副議長から市長に求めました。



【ご支援いただいた団体】

<市議会議長会>

全国市議会議長会

全国市議会議長会指定都市協議会

関東市議会議長会 埼玉県市議会議長会

<市議会>

札幌市議会 横浜市会

○ 議員の表彰

永年にわたり、市政発展に尽くされた功績に対し、全国・埼玉県各市議会議長会より次の議員が表彰されました。

- 30年表彰 鶴崎 敏康 議員 神田 義行 議員
- 25年表彰 添野 ふみ子 議員 青羽 健仁 議員
- 15年表彰 桶本 大輔 議員

○ 「ロクマル」デージー版・点字版を発行しています

視覚障がいのある方に市議会の活動状況をお伝えするため、「市議会だよりさいたま(ロクマル)」の内容をCDに音声収録したデージー版を発行しています。また、点字版も発行していますので、ご希望の方は秘書課(Tel.829-1748 Fax.829-1984)までご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症に対するさいたま市議会の取組み

市議会では、新型コロナウイルス感染症に関し、議員提出議案として、議員報酬の削減や対策の拡充を求める決議などを議決しました（詳細は4・5ページ「クローズアップ」に掲載）。このほかに市議会が行った取組みをご紹介します。

○ 各委員会から感染症対応を市長に要望

各常任委員会からの要望事項をまとめ、5月1日、市長へ要望書を提出しました。市執行部からは、6月定例会中の各常任委員会で、対応について報告を受けました。

<主な要望事項>

- 総合政策委員会 危機管理の強化と体制整備、経済支援に向けた財源の確保、事業者支援策の拡充 など
- 文教委員会 オンライン学習環境の整備、校内の感染拡大防止策、子どもの安全・心理的ケア など
- 市民生活委員会 救急搬送時の安全対策、便乗・悪質商法の防止、DV被害者への対策 など
- 保健福祉委員会 PCRセンターの整備、医療体制の拡充、保育所利用料の減額や事業者補助 など
- まちづくり委員会 公共交通の維持、公共用地の活用、上下水道料金などの減免 など

※要望書の詳細は、市議会ホームページでご覧になれます。



写真(下)は総合政策委員会

○ “3密”を避けた議会運営を実施

議会運営においては、3密を避け、ソーシャルディスタンスを確保しながらも、議会の役割を果たすべく、様々な取組みを行いました。

<主な取組み>

- 議場出席者（議員・市職員）の絞り込みを行いました。
- 常任委員会を広い会議室で1日ずつ分けて開催し、出席者間で一定の距離を確保し、審査を行いました。
- 一般質問の日程を圧縮し、常任委員会の審査日程を確保しました。
- 議場や委員会室の傍聴席では、座席の間隔を空けて着席いただきました。



緊急事態宣言は解除されましたが、再び感染が拡大することがないように、今後は「新しい生活様式」を取り入れながら、完全な日常を取り戻していくことが大切です。市議会としても、引き続き感染の抑制に努めてまいります。

(7月3日時点の情報をもとに作成しています)

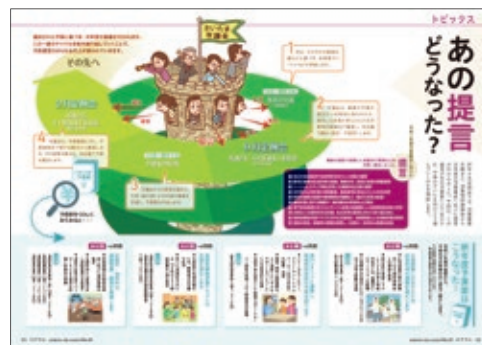
市議会だよりさいたま(ロクマル)No.82の世帯配布中止について

5月1日発行号として全世帯へ配布を予定していたロクマルNo.82は、表紙が市内公園でバーベキューを楽しむ人々の様子をイラストで表現したものであり、3月19日に開催した議会広報編集委員会で承認したものでした。

しかしながら、4月7日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されたことを受け、4月27日の議会広報編集委員会において、表紙イラストが当時の状況にふさわしくないと判断し、各世帯への配布を中止することといたしました。

配布をお待ちいただいていた市民の皆様には心よりお詫び申し上げます。なお、ロクマルNo.82の内容は、市議会ホームページからご覧になることができますが、冊子を希望する方には郵送いたしますので、お手数ですが、秘書課(Tel.829-1748)へご連絡ください。

今後とも、さいたま市議会の議会広報事業にご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



「トピックス」では、市議会が行った提言が新年度予算にどう反映されたのかを検証しました。

常任委員会

総合政策

総務、行財政、税、経済、観光、防災など

- ◎富田かおり 鳥羽 恵 阪本克己
- ◎石関洋臣 伊藤 仕 中山欽哉
- 服部 剛 武田和浩 添野ふみ子
- 竹腰 連 新藤信夫 上三信彰

文教

学校教育、生涯学習、文化財保護、スポーツ、文化振興など

- ◎土橋勇司 佐伯加寿美 松村敏夫
- ◎井原 隆 関ひろみ 桶本大輔
- 川崎照正 島崎 豊 土井裕之
- 川村 準 浜口健司 小森谷 優

市民生活

コミュニティ、交通安全、男女共生、区政、環境、消防など

- ◎都築龍太 高子 景 萩原章弘
- ◎久保美樹 谷中信人 中島隆一
- 照喜納弘志 金子昭代 神崎 功
- 出雲圭子 三神尊志 江原大輔

保健福祉

保健、医療、子育て、福祉、病院など

- ◎斉藤健一 松本 翔 松下壮一
- ◎小川寿士 稲川智美 野口吉明
- 新井森夫 青羽健仁 神田義行
- 渋谷佳孝 西山幸代 神坂達成

まちづくり

都市計画、道路、公園、河川、水道、下水道など

- ◎金井康博 小柳嘉文 高柳俊哉
- ◎西沢鈴子 吉田一志 島海敏行
- 玉井哲夫 帆足和之 鶴崎敏康
- 吉田一郎 傳田ひろみ 高野秀樹

予算

市の予算など

- ◎谷中信人 松本 翔 土井裕之
- ◎新井森夫 吉田一郎 島海敏行
- 石関洋臣 島崎 豊 野口吉明
- 川崎照正 高子 景 萩原章弘
- 照喜納弘志 富田かおり 小森谷 優
- 竹腰 連 浜口健司 上三信彰
- 金井康博 西山幸代

議会運営委員会

- ◎江原大輔 玉井哲夫 高子 景 吉田一志 新藤信夫 三神尊志
- ◎神坂達成 島崎 豊 小柳嘉文 松村敏夫 西山幸代 阪本克己

特別委員会

政治倫理

- ◎添野ふみ子 野口吉明 神崎 功
- ◎神田義行 中島隆一 上三信彰

大都市行財政
将来ビジョン

- ◎帆足和之 竹腰 連 武田和浩
- ◎神坂達成 関ひろみ 松村敏夫
- 石関洋臣 島崎 豊 土井裕之
- 井原 隆 小柳嘉文 鶴崎敏康

議会改革推進

- ◎新藤信夫 出雲圭子 帆足和之
- ◎神田義行 鳥羽 恵 三神尊志
- 川村 準 稲川智美 松下壮一
- 都築龍太 小川寿士 小森谷 優

オリンピック・パラリンピック
競技大会支援

- ◎高野秀樹 金井康博 桶本大輔
- ◎土橋勇司 西沢鈴子 久保美樹
- 照喜納弘志 富田かおり 中島隆一
- 玉井哲夫 浜口健司 添野ふみ子

地下鉄7号線延伸事業

- ◎青羽健仁 松本 翔 野口吉明
- ◎吉田一志 谷中信人 高野秀樹
- 川崎照正 松村敏夫 神崎 功
- 新井森夫 阪本克己 江原大輔

大宮駅グランドセントラル
ステーション化構想

- ◎上三信彰 佐伯加寿美 傳田ひろみ
- ◎高子 景 斉藤健一 西山幸代
- 川崎照正 吉田一郎 島海敏行
- 服部 剛 伊藤 仕 中山欽哉

市庁舎及び行政区の
在り方検討

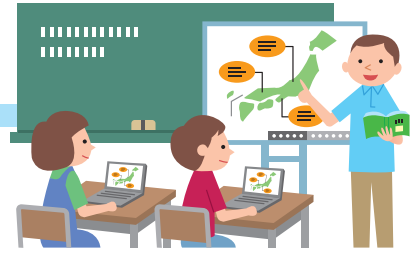
- ◎鶴崎敏康 松村敏夫 神崎 功
- ◎桶本大輔 青羽健仁 小森谷 優
- ◎阪本克己 新藤信夫 上三信彰
- 石関洋臣 三神尊志 神田義行
- 伊藤 仕 土井裕之 神坂達成

決算

- ◎武田和浩 関ひろみ 帆足和之
- ◎稲川智美 西沢鈴子 中山欽哉
- 石関洋臣 島崎 恵 中島隆一
- 井原 隆 小柳嘉文 添野ふみ子
- 玉井哲夫 小川寿士 神田義行
- 出雲圭子 吉田一志 神坂達成
- 佐伯加寿美 桶本大輔

ロクマル キーワード
Keyword

6月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『GIGAスクール構想』
(Global and Innovation Gateway for All)

1人1台端末と通信ネットワーク環境を整備

次世代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICT技術などの効果的な活用が求められる一方、学校現場のICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きいのが現状です。こうした課題を解決するため、国がまとめたGIGAスクール構想では、「児童生徒向けの1人1台の学習者用端末と、高速大容量の通信ネットワーク環境を一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現する」としています。

新型コロナウイルスの影響で構想を加速

社会構造が大きく変化する中、令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境の整備は急務であり、また、コロナ禍でその需要はさらに高まっています。国は、構想を加速し、緊急時であってもICTの活用によりすべての子どもの学びを保障できる環境を早急を実現するため、補正予算を計上しました。本市においても、国の構想に基づき、児童生徒1人1台端末の整備と、併せて学習用ソフトウェアなどの導入を進めています。

編集後記

議会広報編集委員会

4月臨時会および6月定例会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、引き続き効率的な議会運営に努めました。一日も早く事態が終息し、市民の皆様が安心・安全な生活を取り戻せるよう、市議会としても様々な取組みを進めてまいります。

さて、今号から議会広報編集委員も新たなメンバーとなりました。今後も、より一層親しみやすい広報紙を目指してまいりますので、引き続き「ロクマル」をよろしくをお願いします。

- [委員長] 渋谷佳孝 [副委員長] 高柳俊哉
[委員] 服部 剛 都築龍太 出雲圭子
富田かおり 小川寿士 谷中信人
新藤信夫 神田義行 江原大輔

さいたま Diary ダイアリー

キッチンカー（さいたま市役所）



今日は市役所に来ているキッチンカーのランチをテイクアウトしてみました。美味しかったなあ。毎日違うキッチンカーが来るんだって。次は何を食べようかな。

アクセス 浦和駅・北浦和駅・中浦和駅から徒歩約15分

今号の表紙の場所は 浦和区

次の定例会は

9月2日～

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課 (Tel.829-1753)までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

開催日当日、議会棟3階で受け付けています。

※感染症対策にご協力をお願いします。



インターネット中継

会議の様様をライブ配信（生中継）・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



テレビ番組

毎定例会後、広報番組「ようこそさいたま市議会へ」をテレビ埼玉で放送しています。くわしい放送日時は秘書課 (Tel.829-1748)までお問い合わせください。過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

